

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成25年10月21日 NO.24

道徳授業地区公開講座

10月19日(土)。平成25年度の国立第七小学校道徳授業地区公開講座が保護者・地域の皆様、約400名の方々のご参観のもと、無事に終了いたしました。公私ご多忙のところをご来校いただいた事に心より感謝申し上げます。2・3時間目には、それぞれのクラスで道徳の授業が行われました。

先生達は、今日の授業のために前日まであれこれと工夫を重ね試行錯誤を繰り返し、教材研究や教材作りに励んできました。その成果でしょうか、どのクラスも活発な道徳の授業が展開されたようです。

さて、道徳は学校教育全体で行われるものでありますが、道徳授業地区公開講座は、その中核をなす道徳の時間の授業を、学校の教職員だけでなく、広く保護者や市民の皆様にも公開するものです。そして、多くの人達からご意見をいただき、これからの道徳の授業の改善・充実を図り、児童一人一人の健全育成を図るものです。

以上のようなねらいで、授業参観後にはよく講演会などが行われるのが定番となっておりますが、私自身、今回ほど講師のお話に感動したことはありません。講師の国立市教育員会指導主事の荒西岳広先生は、タブレットを駆使し撮影したばかりの写真も取り入れ、先ほど行われた授業を振り返りながら、授業のポイントを押さえたお話に始まり、小グループでの話し合いを軸として参加者が参画しやすいような手立てもされていました。荒西先生ご自身の教職でのご経験を交えながらの示唆に富んだお話に、参加者も大満足の様子でした。また、最後には、提案という形で学校・家庭・地域が今何をなすべきかということにも言及して下さいました。全てお伝えすることができなくて残念ですが、荒西先生には、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

ただ一つ、残念であったのは、4時間目の講演会に参加してお話を聞く人があまりにも少なかったことです。よいお話は皆で共有してこそ価値は倍加するものだと思います。どうすれば多くの方に参加してもらえるかを学校全体でしっかりと考え、また検討を重ねていきたいと思えます。

謝辞にて、来年度も荒西先生を講師として招聘させていただくことをお約束させていただきました。また、来年度の講演会では、参加者人数を10倍返すことも講師の荒西先生とお約束いたしました。保護者・地域の皆様、来年度はご参加の程、どうかよろしく願いいたします。

以下、荒西先生からの3つの提案がありましたので、ご紹介します。図だけでは分かりにくいかもしれませんが、ご了解下さい。詳細は出席された方から情報を頂くのもよいと思います。

提案1 **学校**で

よさや成長の報告



事故・問題行動の報告

提案2 **家庭**で

子どもの成長



「学校・地域のおかけ」というとらえ



感謝の言葉を添えて報告

提案3 **地域**で

一歩踏み出す(地域が子どもを育てる)



登校時間の見守り・地域行事



子どものよい点を報告(手紙が有効)



講師：荒西岳広 指導主事